

「ぼくの大好きな町」



新温泉町立温泉小学校 6年

阪本 龍太郎

『こどもの詩と絵 第43集より』

兵庫県教職員組合
中央執行委員長 森戸卓也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。



子ども・仲間の想いに寄り添い、「誰一人取り残さない」社会の実現にむけて!

年頭に際し、組合員・ご家族の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)が5類感染症へ移行し、兵庫県対処方針が廃止されました。改めて当たり前のようについていることが、当たり前にできる、子どもたちの想いや願いが叶う、日常の大切さを実感しました。

この間、感染症により、兵庫県教職員組合が「緊急提言」を取りまとめましたが、国の次期

年頭に際し、組合員・ご家族の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

この間、感染症により、子どもたちの学びや育つ環境は大きく変化しました。私たち教職員も、いじめ・不登校、児童虐待、ヤングケニアーや感染症による新たな人権問題、部活動の地域移行など、さまざまな課題への組織的な対応がもとめられています。しかし、現在の学校現場は、学期が進行するとともに、教職員未配置が拡大し、子どものゆたかな学びと育ちにも影響が出ています。中教審質問が「緊急提言」を取りまとめましたが、国の次期

この間、感染症により、「教育振興基本計画」の柱である「子どもや教職員をはじめとする学校全体、そして日本社会に根差した不登校、児童虐待、ヤングケニアーや感染症による新たな人権問題、部活動の地域移行など、さまざまな課題への組織的な対応がもとめられています。しかし、現在の学校現場は、学期が進行するとともに、教職員未配置が拡大し、子どものゆたかな学びと育ちにも影響が出ています。中教審質問が「緊急提言」を取りまとめましたが、国の次期

「こども大綱」が12月に閣議決定されました。政府のあらゆる施策で「こどもの最善の利益」が保障されることが重要になります。子どもの権利が保障されるインクルーシブな社会を実現していきましょう。

現在、中教審特別部会で議論がされていますが、真に学校の働き方改革に資するのかは予断を許しません。日教組は、「給特法の

兵庫県教職員組合の皆様、

あけましておめでとうございます。

兵庫県教職員組合の皆様、

あけましておめでとうございます。

子どもが楽しく学び、遊び、

まちがい探し

パズル制作: ひろみよこ

子どもが楽しく学び、遊び、

まちがい探し

パズル制作: ひろみよこ

子どもが楽しく学び、遊び、

まちがい探し

パズル制作: ひろみよこ

「こども大綱」が12月に閣議決定されました。政府のあらゆる施策で「こどもの最善の利益」が保障されることが重要になります。子どもの権利が保障されるインクルーシブな社会を実現していきましょう。

現在、中教審特別部会で議論がされていますが、真に学校の働き方改革に資するのかは予断を許しません。日教組は、「給特法の

兵庫県教職員組合の皆様、

あけましておめでとうございます。

第73次兵庫県教育研究集会 記念シンポジウム

「不登校対策」を今、考える ～子どもに寄り添う支援のあり方とは～(前編)

兵庫県の不登校の子どもたちの現状と対策について、小学校の不登校の子どもの数は、昨年度まで8年連続、人数にして約5・3倍増加している。また、中学校についても8年連続で増加、人数にして約2・3倍増加している。

次に、各学年別の不登校の子どもの数について、学年が上がるにつれて増えており、特に小学校6年生から中学校2年生にかけて増加している。また、小学校1年生から3年生にも増加が見られ、不登校の低年齢化も大きな課題である。

大久保
拓哉さん

そのような背景を受け、今年度からひょご不登校対策プロジェクトを実施し、学校だけではなく、地域・支援関係機関・教育行政と連携したとりくみをすすめている。特に学校においては、みんなが安心して学べる場所とするために、組織的、継続的なとりくみを推進すること。また、すべての子どもたちが普段の授業や学校、学級の中で一人の人間として大切にされているという自己存在感を実感したり、心や体がしんどい状態になつたときに、自分でSOSを発信す

中玉利
展子さん

現在、養護教員として勤務している学校の長期欠席者には、専門機関、教育センターや支援室、病院、S Cの方に相談しながら通っている子どもも、登校はしているが保健室へ登校してから教室、また別室を利用するなど、様々な子どもがいる。

集団に入りにくい理由として、人の目や声が気になる、勉強が嫌、人間関係のトラブルなど、保健室なら行くといった様々な訴えがある。

別室（おひさま）は、学校へ来にくい子どもが少し

A circular portrait of Dr. Yoko Kuroda. She is a middle-aged woman with dark hair, wearing glasses and a light-colored blazer over a white top. She is speaking into a silver microphone with a black base. The background is a plain, light-colored wall.

課題がたくさんあるため、校内委員会で提案、修正を繰り返しながらすめている。

また、保健室においては教室に入れず、一時的な休息や、クールダウンに来るといった利用もある。その場合1人での対応ではなく、担任に教室の様子を聞き、必要に応じてコーディネーターも加わり、定期的に保護者と担任と一緒に面談をおこない、情報交換や、短期的な目標を決め、修正

でも学校へ来やすくなるようになることをねらいとして、今年の4月から運営している。中学校の別室の運営状況に準じて、今は午前中の運営で、主に高学年の教員を時間割に組み込んで対応してもらっている。

現在は7人の子どもが活用しており、小さな部屋だが、子どもに合った活用をしている。

た昨年まで研究所防災部会に所属しており、学年で教員が安全・安心で紹介しつかり持ち表現できるこのケアのポイントをとても大切にしている。

このことは、災害時の応急だけではなく、普段子どもと対応するときにおいてもとても大事なポイントであり、学校へ来なくなる寄り添うための支援のポイントだと考えている。

安全・安心という面では、絆づくりや見守り行為として、保健室に来た子どもの気になるところを感じて、廊下ですれちがつたり



『不登校対策』を今、考える ～子どもに寄り添う支援のあり方とは～

新井
暉さん

不登校の背景には、人間関係やいじめ、心の不調、不安定な家庭状況、また性の多様化がすんでいく中でのマイノリティの問題などがある。したがって、多職種が連携して多角的な支援をしていくことがもとめられている。

学校の中でも、教職員だけではなく、スクールカウンセラー（以下、SC）、スクールソーシャルワーカー（以下、SSW）^r、あるいは保護者が一体となり、子どもたちを支援していくことが必要。そして、学校だけでは扱い切れない課題に関

あるいは校長室も子どもの居場所として活用したり、さらに、サポートルームをつくり、そこでエネルギーを充填したり学びを深めたうえで、次に何をするか、何を教えるかを充填していくことも考えられる。

くり、学びの場を保障していくことは大事である。しかし、不登校の子どもたちとどうでない子どもたちとを分断するおそれや、わかつて対応をすすめていくことの課題についても考える必要がある。

さらに、社会的自立にむけて、支援機関につながつていかない子どもたちをどう支援につなげていくのか。そして、社会的自立についても確認をしておかなければならぬ。社会的自立とは、依存しないことや支援を受けないことではなく、適切に他者に依存したり、

三谷 洋平さん



将来的に教室で授業を受けることをめざすためのテップの場であり、時間もつくられている。教職員は授業の持ち時間数が大半員同じ程度になるように、時間割を割り振り、当する教職員や支援員がここで一緒に学習をしてくる。

自分はこの教科なら、例えば美術なら参加できる。いう子どもは、その授業に参加し、またそれが終われば「ムルーム」に帰つてある。さらに、職員室の横にあるため、教職員が気軽に子どもたちへの温か言葉かけやプラスの言葉

ある子どもが週2回通室しておらず、そこで支援員と学習をしている。その様子は毎回センターから教えていただき、私たちも今後のアプローチのための参考としている。

このように、学校内外問わず、子どもがどこかとなるのは非常に必要だと感じている。

また、子どもに寄り添う、思いを受け止める、一方でこちらの思いを伝える、何気ない会話をする、そのようなことが登校刺激になると思う。さらに、担任だけではなく、養護教員や、S.C., SSW, rなど、チームとして連携することも大事である。しかし、課題としている。

最近の問題点として、特別支援学級に在籍している子どもが不登校になつて、あるいは登校しないケースや、悩みがある場合は保健室へ相談に行くことが多い。自分の思いを正確になかなか話せない子どもが非常に増えてきたのではないかと思っている。その反面、体験活動や特別活動中に会話をすると意外と子どもたちの本音が出てくることが多い。ゆとりを持ち、特別活動や休憩時間、もしくは子どもたちの同士の班活動の中で本音を話せるような場面をつくり、心つながりをつくづくのようなチャンスをつくつける。



「あのねにつき」

太子町立石海小学校
辻 緋薫 1年

あのねにつきだいすきだつていろいろなことがかけるもんうわぐづをあらつてたのしかがくどうでたのしかつしたことしゆくだいをがんばつたことまだまだいっぱいあるよつぎはなにをかこうかなくわくするよせんせいたのしみにしていてね